

帯広畜産大学学位論文作成について

学位論文は、次の各事項に留意して作成するものとする。

1. 使用言語

論文作成の言語は、和文あるいは英文を原則とする。部分的にラテン語その他の言語を使用することはさしつかえないが、その場合は意味を明示するものとする。

2. 印字方法

1) 横書きとし、和文・英文ともに楷書体を主体とする。

2) 本文における字数等は、左側に綴じ代部分を3 cm以上とり、おおよそ次の基準とする。

・和文：本文12ポイント、横38文字、行間7 mm程度

・英文：本文10.5ポイント、横64文字、行間7 mm程度

ただし、和文・英文とも、説明文など、より分かりやすい表のために字体や大きさ等を部分的に混ぜて使用することはさしつかえない。

3. 用紙、規格等

A4判上質紙で片面書き印刷とする。また、下部中央にページ数を付す。(ただし、表紙・表題紙・目次は除く)

4. 表紙及び表題紙(2枚目の表紙)の書き方(※表紙及び表題紙の例を参照)

1) 表紙：和文による論文は和文で、英文による論文は英文で書く。

2) 表題紙：表紙が和文の場合、表題紙は英文で、英文の場合、表題紙は和文で書く。

(注：表題紙とは、表紙につづいておく内表紙のこと)

3) 表紙及び表題紙には、論文題目、作成年号(西暦)、大学・大学院修士又は博士課程・専攻名及び著者名を記入する。

5. 論文題目の書き方

1) できるだけ簡潔にし、必要に応じて副題(前後にダッシュ(-))を付す。

2) 論文題目の書き方等は、下記7の注意点に留意の上、和文では20ポイント以上、英文では16ポイント以上の文字を使い、英文の題目では、文頭と学名及び固有名詞の最初の文字のみを大文字とする。

6. その他の内容構成について

表紙、表題紙につづいて目次をおき、緒言・序言等で始まる本文、そして参考文献の資料をおき、最後に摘要・要約(ABSTRACT, SUMMARY)などとして内容抄録をおく。

なお、和文論文の摘要・要約等を英文で書き、英文論文の摘要・要約等は和文で書く。

7. 文法事項の注意点

1) 句読点等：横書きでは和文・英文ともに読点にはカンマ(,)を、句点にはピリオド(.)を用いる。ただし和文では、ピリオドの代わりに(。.)を使用してもよい。

なお、論文題目は主語・述語を備えた文章ではないので句点(.)や(。.)は付さない。カンマの使用については、名詞の列挙以外では和文と英文とで使用方法が異なる(英文：倒置やofの省略等、主語・接続詞の後、等)ので注意すること。

また、中黒点(・)は英文ではほとんど用いないので注意すること。

2) カタカナ書きについて

動・植物名は原則としてカタカナ書きとする。また、英文での学名はイタリックとする。

3) 英文における大文字の使用については十分注意すること。

- 4) 本文におけるパラグラフは、和文は1字下げ、英文は5文字程度下げ又は1行空きの段落で始める。
- 5) 英文行末での分綴法 (syllabication) は、辞書の表示 (中黒点等が付してある) を確認して行うこと。
- 6) 和文での「及び、および」「或いは、あるいは」「更に、さらに」「即ち、すなわち」等の使い分けについては、どちらも許されるが同一論文内では一定とするのが望ましい。ただし、どの場合においても、前後の漢字やひらがなの連続によっては読みやすいように工夫をすること。
- 7) 「」, 「」のような場合は、カンマを省き「」「」とする。

8. 提出書類・提出方法及び装丁

学位論文及び関係書類については、指導教員の確認を得て次のとおり提出するものとする。

<修士課程及び博士前期課程 修士学位論文審査の提出書類>

- (1) 学位論文審査願 (様式第1号) 1部
- (2) 論文目録 (様式第4号) 4部
- (3) 学位論文 4部
- (4) 学位論文要旨 (様式第5号) 4部

※1 学位論文提出期限は年度の初めに公表するので、最終年次の提出期日までに提出すること。 (4月入学者は1月31日ごろ、10月入学者は7月10日ごろ)

※2 論文及び提出書類は、クリップ等で留めて提出すること (穴あけ、ホッチキス留め、糊付けはしないこと)。

※3 なお、提出された論文は、審査終了後、正論文は本学図書館において蔵書用として製本し保管され、副論文は該当専攻 (コース) で保管される。

<博士後期課程 博士学位論文 (課程博士) 審査の提出書類>

- (1) 学位論文審査願 (様式第2号) 1部
- (2) 論文目録 (様式第4号) 6部
- (3) 学位論文 5部及び電子ファイル
- (4) 学位論文要旨 (様式第5号) 6部
- (5) 履歴書 (様式第6号) 1部
- (6) 学位論文の基礎となる学術論文及び参考論文 各6部
- (7) 承諾書 (※「学位論文の基礎となる学術論文」が共著である場合は、提出すること) (様式第7号) 各1部
- (8) 論文掲載証明書 (※「学位論文の基礎となる学術論文」が、印刷公表されていない場合に提出すること) 各6部
- (9) その他必要と認めること

※1 学位論文提出期限は年度の初めに公表するので、最終年次の提出期日までに提出すること。 (4月入学者は12月10日ごろ、10月入学者は6月30日ごろ)

※2 論文及び提出書類は、クリップ等で留めて提出すること (穴あけ、ホッチキス留め、糊付けはしないこと)。

※3 「やむを得ない事由」がある場合を除き、博士学位論文の全文、内容の要旨、論文審査結果の要旨を、帯広畜産大学学術情報リポジトリで公表する。

※4 「やむを得ない事由」により全文公表ができない場合は、理由書を学位が授与される3日前までに学務課に提出すること。

※「やむを得ない事由」の例：

- ・インターネットに公表できない内容を含む場合（立体形状による表現や個人情報など）
- ・インターネット公表により明らかに不利益が発生する場合（特許申請，学術ジャーナル掲載予定，出版・刊行など）

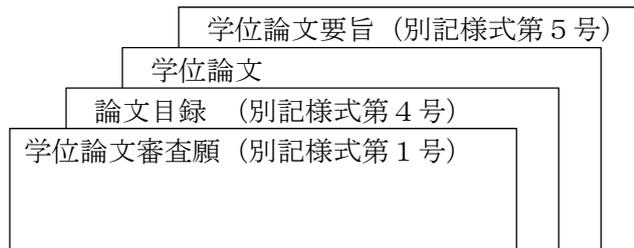
(表紙及び表題紙(2枚目の表紙)の例—A 4判)

<p>北海道における農業の発展に関する研究</p> <p>平成〇〇年 (20〇〇)</p> <p>帯広畜産大学大学院畜産学研究科 修士課程 資源環境農学専攻 十 勝 未 来</p>	<p>Study on agricultural development in Hokkaido</p> <p>20〇〇</p> <p>Mirai TOKACHI Master's Program in Agro-environmental Science Graduate School of Animal Husbandry Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

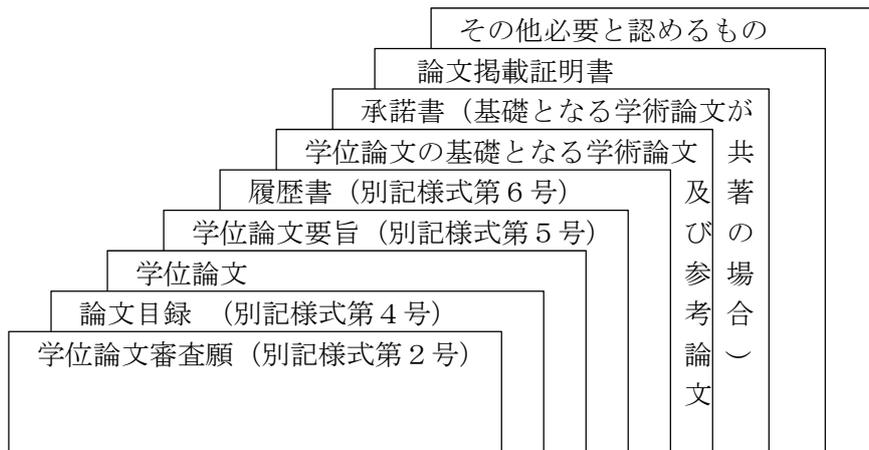
(注)

- 1) 表紙：和文による論文は和文で，英文による論文は英文で書く。
- 2) 表題紙（2枚目の表紙）：表紙が和文の場合，表題紙は英文で，表紙が英文の場合，表題紙は和文で作成すること。
- 3) 表紙及び表題紙には，論文題目，作成年号（西暦），大学・大学院修士又は博士課程・専攻名及び氏名を記入する。
- 4) 英文の論文題目は，文頭と学名及び固有名詞の最初の文字のみを大文字とする。
- 5) 英文での氏名の書き方は，以下のとおり「名」「姓（大文字）」とすること。
Mirai TOKACHI
- 6) 左側に綴じ代部分を3 cm以上とること。
- 7) 論文及び提出書類はクリップ等で留めて，学務課に提出すること（穴あけ，ホッチキス留め，糊付けはしないこと）。

修士学位論文審査の提出書類（取扱細則第4条）



博士学位論文審査の提出書類（取扱細則第7条）：課程博士



博士学位論文審査の提出書類（取扱細則第9条）：論文博士

